

平成23年度当初予算の概要

平成23年度の予算は、①「行財政改革の着実な推進」②「特色あるまちづくりの新たな展開」の2つを柱に、財政健全化に向けて「選択と集中」を徹底した予算編成としています。

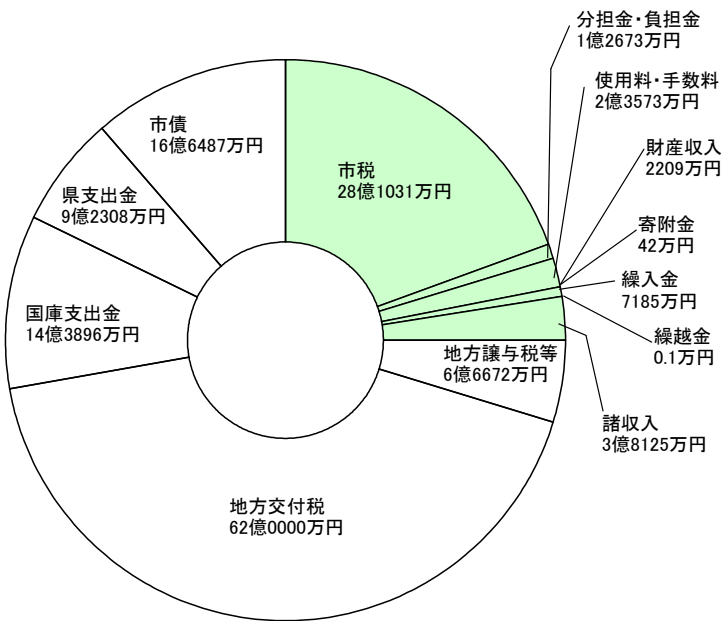
一般会計の当初予算額は145億4,200万円で、前年度と比べ、2,000万円、0.1%の減となりました。

特別会計は、老人保健・漁港管理特別会計の一般会計への統合、公共下水道事業・農業集落排水事業特別会計の企業会計への移行により8会計となりました。特別会計の予算額合計は80億1,730万円で、前年度と比べ、12億3,380万円、13.3%の減となりました。

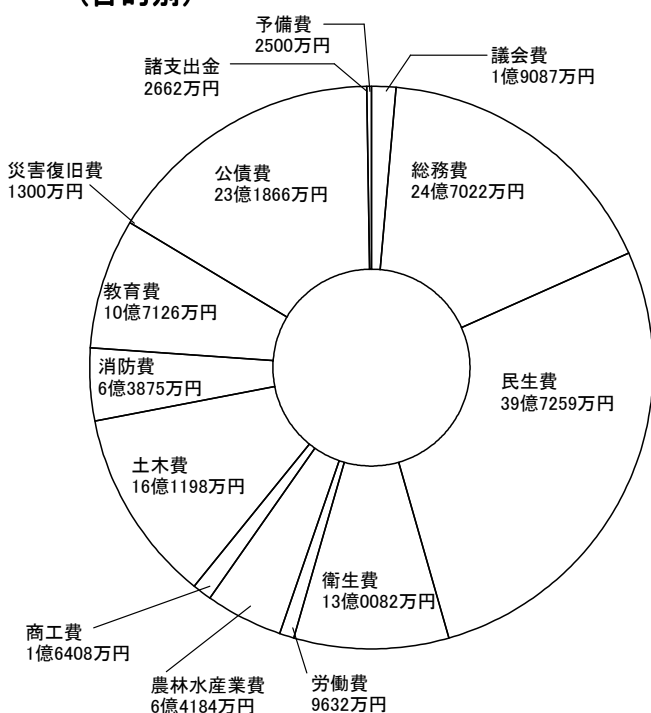
公営企業会計は、公共下水道事業・農業集落排水事業特別会計を企業会計に移行し、公共下水道事業(能美地区)会計と統合し、下水道事業会計を設置しました。3公営企業会計の予算額合計(収益的支出と資本的支出の計)は39億8,485万円で、前年度に比べ、16億1,988万円、68.5%の増となりました。

一般会計歳入・歳出の内訳

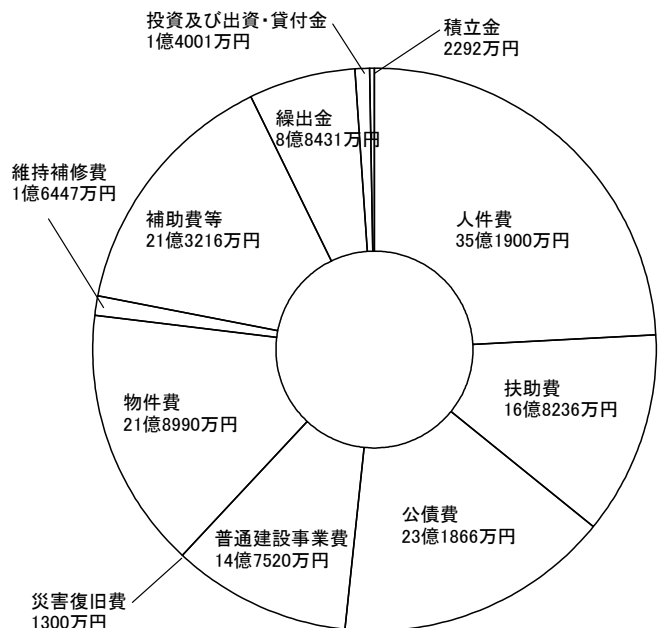
歳入 145億4,200万円



歳出 (目的別) 145億4,200万円



(性質別)



特別会計の状況

会 計 名	平成 23 年度	平成 22 年度	増 減
国民健康保険特別会計	42 億 3,100 万円	41 億 8,350 万円	4,750 万円
老人保健特別会計	—	350 万円	皆減
後期高齢者医療特別会計	3 億 9,200 万円	4 億 3,890 万円	△ 4,690 万円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	32 億 1,400 万円	31 億 3,500 万円	7,900 万円
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	1,700 万円	1,770 万円	△ 70 万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	3,540 万円	3,750 万円	△ 210 万円
港湾管理特別会計	4,900 万円	4,140 万円	760 万円
漁港管理特別会計	—	580 万円	皆減
公共下水道事業特別会計	—	11 億 8,930 万円	皆減
農業集落排水事業特別会計	—	1 億 1,970 万円	皆減
地域開発事業特別会計	2,410 万円	2,380 万円	30 万円
宿泊施設事業特別会計	5,480 万円	5,500 万円	△ 20 万円
特 別 会 計 合 計	80 億 1,730 万円	92 億 5,110 万円	△ 12 億 3,380 万円

※ 老人保健特別会計、漁港管理特別会計は、一般会計に統合されました。

※ 公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計は、公営企業会計の下水道事業会計に移行しました。

公営企業会計の状況

会 計 名	区 分	平成 23 年度	平成 22 年度	増 減
下水道事業会計	収益的収入	8 億 7,619 万円	—	皆増
	収益的支出	8 億 7,619 万円	—	皆増
	資本的収入	8 億 6,585 万円	—	皆増
	資本的支出	11 億 8,413 万円	—	皆増
公共下水道事業 (能美地区)会計	収益的収入	—	2 億 4,447 万円	皆減
	収益的支出	—	2 億 4,394 万円	皆減
	資本的収入	—	1 億 1,716 万円	皆減
	資本的支出	—	2 億 0,429 万円	皆減
交通船事業会計	収益的収入	4 億 4,967 万円	5 億 1,859 万円	△ 6,892 万円
	収益的支出	5 億 2,777 万円	5 億 8,959 万円	△ 6,182 万円
	資本的収入	2 億 4,762 万円	5,000 万円	1 億 9,762 万円
	資本的支出	2 億 0,778 万円	7,242 万円	1 億 3,536 万円
水道事業会計	収益的収入	8 億 5,226 万円	8 億 7,666 万円	△ 2,440 万円
	収益的支出	8 億 3,839 万円	8 億 6,153 万円	△ 2,314 万円
	資本的収入	1 億 3,318 万円	1 億 7,213 万円	△ 3,895 万円
	資本的支出	3 億 5,059 万円	3 億 9,320 万円	△ 4,261 万円

資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、損益勘定留保資金等により補てんします。

※ 公共下水道事業(能美地区)会計は、下水道事業会計に統合されました。

※ グラフ及び表中の数値は、表示単位で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。